

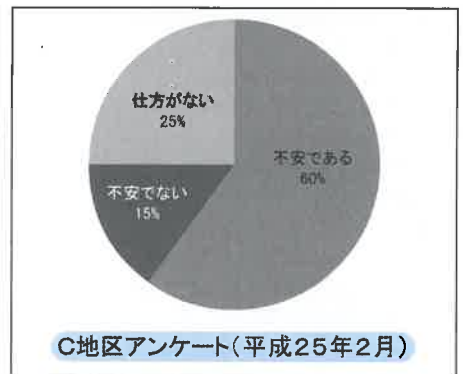
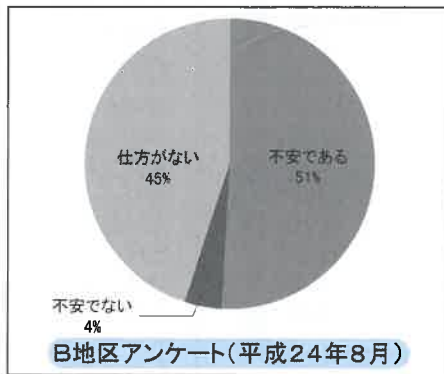
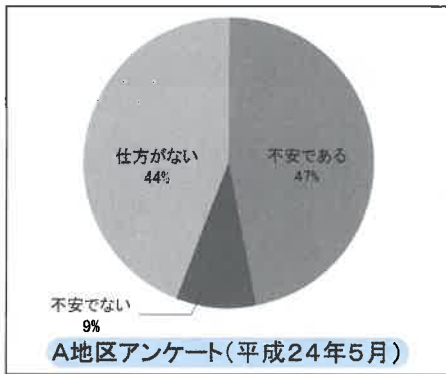
みんなでやらいや！

～まちづくり活動報告～(第18回)

まちづくりアンケート

問

「人口減少が予想される中で地域が弱体化することについて、あなたはどのように思われますか？」



『まちづくりアンケートが』

このまちづくりアンケートは、旧小学校校区ごとに設立されている10地区の「まちづくり地区会議」のうち3地区が行ったものです。実施時期は、3地区のうち2地区が昨年(平成24年)5月と8月に、残りの1地区は平成25年2月に行われました。

【結果】

平成24年に実施したA地区とB地区を比較すると、「不安である」、「仕方がない」と感じている方が、ほぼ同じ割合で回答されたことがわかりました。(A・Bの地区アンケートグラフ参照)

その一方で、平成25年2月にアンケート調査が実施されたC地区では「不安である」「不安でない」と回答された方は多いものの、A地区やB地区に比べて「仕方がない」と答えた方は、逆に少ないという結果になりました。(C地区アンケートグラフ参照)

今回は、この「回答結果の違い」の要因について考えてみたいと思います。

【考察】

アンケート実施時期の違いによるもの。平成25年にC地区で実施したアンケートは、A・B地区に実施した時期からおよそ半年が経過した時点のものであることから、このような違いが表れたのではないのでしょうか。

このような要因があると仮定して、C地区でのアンケート結果について、次のように考えました。

① A・B地区に比べ「不安でない」が多く、「仕方がない」が少ない理由

- ・まちづくり団体、または集落単位で行う「支援愛事業」旧校区単位で集落間の連携を図る「地域自主組織の育成支援事業」などの地域づくりに関する本町の施策が認知されはじめ、「地域に元気が取り戻せる」と再認識され始めていること。

② 「不安である」が多い理由

- ・町が推進している地域づくりに関する施策は認識されるものの、これによる「地域の将来像が具体的にイメージできない」ということ。

しかしながら、回答結果の違いについては、このほかにもさまざまな要因が考えられるため、必ずしも「実施時期の違いによるもの」といいきれないのも確かです。

また、このアンケートに対する回答のみで、このような仮説を立てることに多少の無理があることも事実です。

いづれにしても、本町ではこの3地区でのアンケート結果を踏まえ、今後も引き続き、住民の皆さんが主体となったまちづくり活動を支援していきます。さらに、まちの将来像をこれまで以上に明確化する取り組みを進めていきたいと考えています。

皆さんは、このアンケート結果の要因についてどのように思われますか？

◆問い合わせ先

企画情報課・未来づくり戦略室

☎ 0859-545202